

平田村

農業委員会だより



NO 3

2013.6.28

編集・発行 平田村農業委員会

☎0247-55-3115



去る四月十日に東京都内（椿山荘）において行われた全国情報会議で、平田村農業委員会会長瀬谷一男氏が、全国農業会議所会長から全国農業新聞優秀農業委員会として東北ブロック代表として表彰を受けました。

平田村農業委員会が東日本
ブロック代表として表彰

新たな特産品の期待



広報・地産地消 駒木根 茂

新しい特産品を目指して、道の駅ひらたの直売組合がサツマイモの栽培を始めました。

カネコ種苗から発売された「シルクスイーツ」という品種で、なめらかな糖質とお菓子のような甘みが評判です。十数名の会員が植え付けを終了しました。新たな平田村の特産品になればと期待をしているところです。

また、この新種を「たけのこ教室」でも植え付けを行い、十月の収穫体験を心待ちにしています。

水田の水不足が心配

水稻部会 関根 克彦

水稻については、昨年から玄米の全袋検査を実施し、平田村産米は九四、〇七一袋を検査し、全袋の安全が確認されたところです。放射性物質吸収抑制対策としてカリ肥料等施用事業を全村的に展開したことが奏したものであると思います。今年も全量全袋検査の実施と、カリ肥料の施用について実施をお願いするものです。

今年の稲作では、低温と春先から水不足が続き、耕起しても代掻きができず植え付け不能な水田等と深刻な問題があります。



子牛価格が堅調に推移

畜産部会 久保木 源

出荷頭数の減少にともない、石川家畜市場が三月で閉鎖され、四月からは本宮市の福島県家畜市場に上場するため、農業団体において子牛の輸送体制やヘルパ―組織を再構築された結果、支障なく子牛セリ価格においては高い価格での落札となり、安堵しているところです。

「本宮家畜市場においてセリの順番を待つ生産者」



葉たばこの生育状況について

葉たばこ部会 中井 秀一

葉たばこは昨年から再開されましたが、耕作者は半分にも減っていました。

今年は、四月に作付けし、水不足で生育状態を心配していましたが、今の状況は順調に生育しています。七月には、収穫乾燥作業にはいりますが、このまま維持出来ることを願っております。



《お知らせ》

【全国農業新聞】ご購入のお願いについて

農業委員活動並びに事業の推進等につきましては平素より格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

農業委員会系統組織は、「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる「架け橋」を組織理念に掲げ、活動と組織の改革を進めているところです。

また、新たな農地制度においても農業委員会系統組織が「優良農地の確保及びその有効利用」や「遊休農地の解消と発生防止」について、その役割を果たしていくことが期待されているところであります。こうした農村現場における取り組みや今日の農業・農政の情勢を的確にお知らせするとともに、国民合意の農政確立を進めるため、全国農業会議所は系統組織の情報を集約して「全国農業新聞」(毎週金曜日発行：1ヶ月600円「年間7,200円」税込)を発行しております。全国農業新聞は、農地制度並びに農業者年金制度、さらに先進的な農地流動化や農業委員会活動事例、認定農業者、農業生産法人等先進的な農業経営・村づくり活動事例、農業後継者や地域・経営を支える女性の活動事例等、総合的な専門情報を提供しております。各種施策を実施する際の基礎的資料としてご購入、ご活用をお願いいたします。

農業委員に

大竹正夫さんを選任



五月から空席であった農業委員会委員に大竹正夫氏が六月の定例議会で選任の同意を得、六月十二日に就任しました。

任期は平成二十五年六月十二日から平成二十六年七月十九日までの残任期間です。

編集後記

佐藤 四郎

今年の農作業も豊作を期待して始まりましたが、水不足等により作付けできない田んぼもあり、自然の恐ろしさを感じます。原発事故による畜産市場の移行に伴う諸々の不安も価格の安定等により、安心した経営が出来ることを期待したいものです。

東日本大震災から二年三ヶ月が経過し、一日も早い復興を願うばかりです。